

## 模索

私は一体どこへ歩もうとしているのか  
ただひたすらに歩む  
振り返ることすらせず  
冬の寒いときは自からをこれでもかと  
痛めつけながら  
何故ここまでしなければならぬのか  
暗闇の向こうに光がさしているような気がする  
ただそれだけの理由で  
目指すものは何なのか  
歩みを止めればよいものを  
人はそこまで頑張らなくても不思議がるだろう  
ただ惰性に流され  
判らないから歩むのだ  
何かを見出したいと思うから歩むのだ  
やっとたどり着いたと思っても  
果たしてそこだったのか  
どうもそこではないような気がする  
そして再び初心に帰って歩み始める  
こうして 50 年の歳月が過ぎた  
最近満足感は達成できるのか疑念を持つようになった  
おそらく一生満足感は得られないような気がする  
曖昧な目標に向かって  
その過程の中で小さな喜びを見つけていくことを  
当面の目標に置こう